



① 井山宝福寺禅堂での座禅体験 ② 井山宝福寺方丈で小鍛治元慎住職から法話を聞く
③ 備中神楽「吉備津」鑑賞 ④ 完成した古代食 ⑤ 神崎宣武さんによる講義 ⑥ 古代食の調理 ⑦ ガラス玉作り体験 ⑧ 旧堀和平邸の見学



総社の観光や文化を伝える伝道師を育成

総社観光大学を開催

総社の観光の担い手を育成する総社観光大学を開催。今年新たに総社観光ナビゲーターに加わりました。

これまでに輩出した総社観光ナビゲーター数

145人

25人が

今年で6回目の開催となった総社観光大学が、8月25日から28日にかけて岡山県立大学周辺を会場に開催され、初めての外国人受講生を含む25人が参加。指定のプログラムを修了し、総社観光ナビゲーターとして巣立っていきました。

総社観光大学のコーディネーターである民俗学者の神崎宣武さん監修のもと、吉備国際大学の守安収教授、岡山大学大学院の金関猛教授、藤井和佐教授など多彩な講師陣による講義に加え、座禅や染物・ガラス玉作り、古代食作り、備中神楽「吉備津」の鑑賞といった体験学習で全17のプログラムを実施。最終日に

は、「総社と観光」と題して、今回の受講生や過去の修了生を交えたシンポジウムも開催されました。

観光大学の受講メニューで受講生に人気があったのは古代食作り。砂川公園で土器による「赤米ご飯」や、「サトイモとシシ肉の蓮の葉蒸し」といった奈良時代の食を再現しました。総社観光大学の古代食の再現は、調理方法まで古代に戻し調理するという点でほかの類をみないと言えます。

これまでに輩出した総社観光ナビゲーターは145人になります。総社観光プロジェクトでは、これからも伝道師の育成に取り組み、総社の魅力を全国に発信していきます。

問い合わせ 商工観光課
観光プロジェクト係 (☎8277)



佐野静樹さん/総社市
遠方に住む友人を総社市に招きたいです。



仏ヒョンツァンさん/韓国
韓国と関連が深いところや鬼ノ城、温羅伝説を伝えたい。



仁熊義則さん/総社市
高い農業所得、観光的発信による総社の発展につなげたい。



渡辺則文さん/総社市
古民家を利用し、担い手の受け入れができるようにしたい。



板野明和さん/総社市
総社のことをさらに勉強し、ボランティアガイドを目指したい。



秋山芳輝さん/総社市
総社は歴史があり、可能性を秘めていると感じた。



實近照晃さん/総社市
座禅では自然の音を感じ、落ち着くことができた。



岡田勝秀さん/岡山市
総社に関する情報を周囲の人に発信したい。



岡田薫子さん/岡山市
たびたび総社に足を運び、歴史のものに触れたい。



人見一枝さん/岡山市
総社はこんなに素敵なのだと思った。みんなに伝えたい。



熊城秀樹さん/倉敷市
広域ボランティア観光ガイドで総社の観光資源を伝えたい。



平松徹大さん/倉敷市
県内外から来るお客様に総社の魅力を伝えていきたい。



鐘森智美さん/岡山市
総社の地名や特産品を多くの人に伝えられるよう勉強したい。



石部一子さん/総社市
市外や県外から総社に来る人を歓迎したい。

ほか 11人



総社観光大学コーディネーター
神崎宣武さん

総社観光大学は人材育成の場。ほかの市にない人材育成という面で勝っている。総社の観光をこれからどのように次世代につないでいくのか。新たな人材に歴史や観光の魅力を伝承すると同時に、市の財産となった観光ナビゲーターの力を活用していかなければいけない。人材育成では総社には伝統がある。そのうえに観光大学が機能すれば幸いなこと。

三木記念賞を受賞

地域社会の発展に貢献した人を顕彰する三木記念賞に、総社観光大学を1回目からコーディネートしている神崎さんが、食文化の研究や郷土芸能の伝承に尽力したとして選ばれ、8月31日に岡山市で授与式が挙行されました。